

With-Corona、Post-Coronaの循環器診療

コロナ診療、入院制限、受診抑制、待期的手技の新たな適応 などによる病院経営悪化の中で、循環器医療供給体制をどの様に維持あるいは再構築するか？

皆さんでこの危機に向い合い、智慧を出し合ってコロナ前よりもっと良い医療体制になればという願いを込めたセッションです。

2020年8月2日(日) 15:40-18:10

(8月11日(火) 正午～10月30日(金) 正午までオンデマンド配信)

座長

木村 剛 (京都大学循環器内科)

中川義久 (滋賀医科大学循環器内科)

ディスカッサント

安藤 献児 (小倉記念病院循環器内科)

大西 祐子 (平塚共済病院循環器内科)

池田 隆徳 (東邦大学循環器内科)

横山 広行 (横山内科循環器科医院)

の場 聖明 (京都府立医科大学循環器内科)

■ **日本循環器学会 COVID-19 対策特命チームの活動から** 15分

野出 孝一 (佐賀大学循環器内科)

■ **コロナ対応最前線病院の経験と今後への備え** 10分

木原 康樹 (神戸市立医療センター中央市民病院)

■ **病院経営の現状** 10分

中尾 浩一 (済生会熊本病院循環器内科)

■ **循環器救急医療体制をどう維持する？** 10分

伊 莉 裕二 (東海大学循環器内科)

■ **New-Normal for Elective Procedures はどうなる、どうする？** 10分

野上 昭彦 (筑波大学循環器内科)

特別講演

■ **パンデミックに強い「デュアルモード社会」の構築を** 30分
- 危機を好機に変える逆境力

田坂 広志 (多摩大学大学院)

総合討論

■ **With-Corona、Post-Coronaの循環器医療供給体制は？** 60分